

◎市長（山田憲昭君）

人生 100 年時代の政府の取り組み、構想の内容への見解についてお答えいたします。世界に先例のない超長寿社会、いわゆる人生 100 年時代を迎える中、我が国においては、全ての人々が元気で活躍し続けられる社会をつくる必要があります。

そこで政府は、一億総活躍社会の実現に向けて、人づくり革命を大きな柱といたしております。

その人材への投資として、幼児教育無償化、ゼロ歳から 2 歳までの待機児童の解消、保育士の処遇改善、低所得者への高等教育無償化、介護職員の処遇改善などを構想しております。

また、幾つになっても学び直しができる産学連携によるリカレント教育の拡充を初め、時代や地域のニーズに合わせた大学改革の推進、意欲ある高齢者への働く場の提供など、誰にでもチャンスあふれる社会の実現を目指しております。

本市の掲げる将来都市像「健康で笑顔あふれる元気都市 白山」の実現は、まさに政府の掲げる一億総活躍社会の実現と同じものであるというふうに考えております。市民一人一人が生涯を通して心身ともに健康で活躍し、まち全体が笑顔であふれ、人や自然、産業までもが元気になる、そのようなまちづくりを実現するため、今後とも総合計画に沿って力強く各種施策を展開していきたいと考えているところであります。次に、本市の男女別の平均寿命と健康寿命及びその年齢差、そして、100 歳以上の人口についてお答えいたします。

男性の平均寿命は 82.04 歳、一方、健康寿命は 80.42 歳で、その差は 1.62 歳となっております。

また、女性の平均寿命は 87.84 歳、一方、健康寿命は 84.32 歳で、その差は 3.52 歳となっております。

次に、100 歳以上の人口であります。2 月末で男性が 9 人、女性が 61 人、合わせて 70 人となっております。

次に、健康都市宣言に当たり、市民の健康寿命を延ばし、平均寿命との年齢差を縮小する支援策についてであります。

市では、昨年度策定いたしました第 2 次白山市健康プランにおいて、栄養、運動を初めとした健康的な生活習慣の確立などを柱に掲げ、健康づくりの着実な推進に努めているところであります。

健康都市宣言関連事業といたしましては、ことし 6 月に健康都市宣言記念イベントを予定しており、市民とともに健康づくりに取り組む市の姿勢を広く周知したいというふうに考えております。

あわせて、記念イベントを通して健康のありがたさ、大切さを市民の皆様にも再認識していただきたいと思います。

そのほか、新年度予算にも盛り込ませていただきましたが、今年度作成いたしましたウオーキングマップを活用したウオーキング事業や、はくさんタニタ健康倶楽部のポイント制度の拡充、また、子供の予防接種助成の拡大、検診受診率の向上を目的としたがん検診受診開始年齢時の自己負担金の無料化及び国民健康保険特定健診の無料化、歯周疾患検診の対象者の拡大などを実施することといたしております。

さらに、高齢者に対しましては、市民主体の介護予防の推進として、通いの場づくりや地域ふれあいサロンへの支援の拡充、また、社会参加の促進、生きがい支援といたしまして、老人クラブへの支援や高齢者入浴サービス事業などを実施することとしており、市民の健康寿命の延伸につなげていきたいというふうに考えております。